

<学校関係者評価>

1. 日時： 令和6年5月29日(水) 第6回学校関係者評価委員会開催

2. 出席者： 評価委員8名 学校職員 10名

3. スケジュール

- 1)挨拶
- 2)学校自己評価 報告
- 3)質疑応答

4. 評価委員からの主な意見

学校運営	<p>学校の運営は、どうしても実績や数字で評価されることが多いかと思うが、看護師国家試験の合格率は全国平均より高く、定員の120名も保たれており、よいと思う。昨年度の出願者が前年度比で90名減少していることについては、子供の数が全国的にも一番少ない年だったので仕方ない部分もあり、今年は一定の水準に戻ることで学生募集への影響は昨年ほどではないでしょう。しかし、油断することなく引き続き学生募集に取り組んでいただきたい。</p> <p>学生からみたこの学校の強み、教職員からみた強み等、SWOT分析を活用して学校の魅力を発掘してほしい。</p>
教育活動	<p>日頃より看護基礎教育を丁寧に行っている。全体的にみて学生のために頑張っている教員が多いことがわかる。</p>
学修成果	<p>国家試験の再受験者に学習面とメンタル面のフォローを行っていただきたい。</p> <p>今年の国家試験不合格者と既卒が現場で働きながら再受験することに対して、学校でフォローを行うと伺ったが、現場の理解も必要なので、そのフォローもお願いしたい。</p>
学生支援	<p>1年生は実習をする気持ちが出来上がっていないが、2年生3年生になるにつれて学校で十分に教育を受け、整っていくことを実感している。</p> <p>実社会に出たときに孤独にならないタフさをどう付けていくか考えていただきたい。</p>
教育環境	<p>今の学生に寄り添い学びやすい環境を作ってくれている。現場とのギャップがないように学校と現場で連携をとっていくことが学生のためになると思う。</p>

5. 総括及び次年度の課題

学校評価委員からご意見をいただいたように、学生のメンタルのタフさをどう育てていくかが大きな課題であると考えている。

基礎教育を丁寧に行っているという評価をいただいた一方で、現場とのギャップに戸惑うこともあるのではないかとご意見があった。引き続き、学生にとって学びやすい学習環境を整えつつ、学生の成長を促す支援となるような教育活動を目指していく。